

第 42 回運営会議（2005. 2. 19 開催）結果報告		2005. 1. 14 庶務発信
開催日時：	2005 年 2 月 19 日（土）10:00～13:20	
場 所：	カラスマプラザ 21 8階 第 1 会議室	
参加者数：	運営会議委員 6 名（委員長、委員長代理、琵琶湖部会長、淀川部会長、木津川上流部会長、猪名川部会長）、オブザーバー 2 名（委員）、河川管理者 3 名	
検討内容、 決定事項	<p>1. 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理に三田村委員に加え今本委員を指名し、3 名体制で各会に出席して状況を把握して効率的に進める。3 名体制で進めることは、次回委員会に報告する。 ・次回委員会では、4 部会の委員構成と分野が分かるものを配付して、確定した地域部会の委員構成の報告を行う。 ・委員会規約は、本日の審議結果を踏まえて、委員長と庶務が案を作成し、事前配付して次回委員会で規約改正を図る。 ・テーマ別部会は、住民参加部会、利水及び水需要管理部会を作り、どちらかに参加することとし、WG は個別に検討して第 41 回委員会までに決定する。どのようなWGをつくるかは、部会のなかでも検討していく。 ・勉強会は、早く実施する必要があるため、庶務と管理者で協議していくつかのプランをつくりアンケートをとって、実施に向けて動き出す。 ・次回委員会は、3 月 14 日（月）の 16 時～19 時とし、都合が悪いと答えている委員にも出席要請をする。 ・次回運営会議は、3 月 30 日（水）午前 10 時～12 時 30 分に開催する。 <p>2. 審議内容</p> <p>（1）地域部会の委員構成確定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員構成で不十分であれば移動もあり得るが、4 部会で発足することは了解済みである。次回委員会では、委員構成と分野が分かるものを配付する。早急に決定したい（委員長）。 ・現委員会規約では、委員構成表を別表にしており、委員が変わるごとに改正が必要であった。部会の種類や構成は、委員会の承認事項であるが、規約には位置づけない。今後、部会の所属を変りたい場合は、委員会で承認する。（委員長） ・木津川部会では、人数が少なく必要な専門知識を有する委員が不足している。 ・併せて、女性委員の件も検討いただきたい。 ・発足の最初から委員を追加という訳にはいかない。必要になった段階で、具体的な候補者をもって、管理者にお願いすればよい（委員長）。 ・委員の皆さんにはせめて半分は出席していただきたい。 ・今回は、委員数が 28 名なので全体委員会を活性化できる。全体委員会で議論する方向で考えたい（委員長）。 ・新しい委員を知らない。琵琶湖部会としては検討内容により部会長の負担が違うので、委員会までに、部会で相談したうえで副部会長を確定したい。 <p>（2）テーマ別部会、プロジェクト、WG の構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖水位の問題、淀川の維持流量の問題等、特定のテーマは、委員会の承認を得てWGによって実施するとよい。テーマによっては、少人数でやってもよいのでは。 ・あまり多くのテーマを上げると、人数が少ないのにどうか。 ・テーマ別部会とWGはきちんと分けるべきである。住民参加部会は全体の問題であり、 	

検証して進化したものを提案しないとイケない。利水も水需要管理の具体的な検討を行っていない。ダム WG もテーマ別部会とすべきだが、そのなかで水位操作の問題もある。重要な問題を部会として、個別なものは、WGで検討したらどうか（委員長）。

- ・琵琶湖の場合はテーマ部会が重要である。利水や水需要管理はテーマ別に作ったほうがよい。
- ・テーマ別部会を重視でよいがどうするか。住民参加、利水はよいが、他にどうするかの方案を出したほうが良い（委員長）。
- ・テーマ別部会の案を1つか2つ上げて、意見を求めてはどうか。集中するのはWGで、部会は残しておいてはどうか。
- ・部会ごとの検討スケジュールも必要なので、地域別部会を開催して考えてもらったほうがよい（委員長）。
- ・洗堰水位操作、ダムに頼らない水位操作の検討に絞ってはどうか。
- ・テーマ別をつくって、必要に応じてWGをつくるとよい。
- ・テーマ別部会は、住民参加部会、利水及び水需要管理部会を作り、どちらかに参加することとし、WGは個別に検討して第41回委員会までに決定する。どのようなWGをつくるかは、部会のなかでも検討していく（委員長）。
- ・新委員が多く参加しているので、共通認識が形成されていない。課題については、新委員に追いついていただく機会を設けて欲しい。
- ・勉強会の開催について、管理者から申し出があった。運営会議での意見を聞いてから、新委員に知ってもらったほうがよいとのことである。実施の際には、ばらばらで実施することはなく、また、継続委員も知ってもらい、交流もしていただくという趣旨で作成してもらった（委員長）。

（3）規約改正について

委員長が、規約改正案の説明を行いながら、内容の意見交換を行い、いくつかの箇所の修正を行うこととした。それを踏まえて、「1. 決定事項」のように進めることにした。

（4）第40回委員会の議事内容について

- ・自己紹介・抱負は1人2分で、最大30分で行う。庶務から各委員に紙で出してもらうよう依頼する。

（5）その他

- ・各委員が書いたものは、製本の必要はない。
- ・HPで公開されていれば、よいのではないか。内容的には中間とりまとめである。新たな河川整備を目指してのリニューアルの必要はあるのではないか。現在のものはよくできており便利である（委員長）。
- ・案を作成して欲しい。
- ・資料1-3は良い資料。これにつけることも考えられる。

以上

※このお知らせは委員の皆様主に決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。